



ありがとう王江小

(王江小学校の思い出)

昭和三十四年三月卒業 安田 和夫

本年、三月三十一日を以て王江小学校は創立百四十八周年の歴史を閉じ、名池小と統合して小中一貫教育校「名陵学園・下関市立名陵小学校」として生まれ変わる事となりました。昭和十三年に建設された、鉄筋コンクリート三階建の校舎も姿を消す事となり卒業生として淋しい限りです。

私は昭和二十八年入学。校舎は焼け残りでしたが、戦後七年しか経っていないので、まだ街の衛生状況が悪く、蠅・蚊・蚤・虱・鼠など沢山いました。一年生の時、学校に行く時、校庭での毎日の朝礼で先ずはDDT(殺虫剤)を噴霧されました。子供たちの栄養状態も良くないので、給食は、コッペパン・マーガリン・脱脂ミルク・肝油二粒で、アルミの食器でした。給食費・教科書は有料、修学旅行費も積立でした。それでも皆元気。運動場を走り回りました。戦後のベビーブームで、私の学年は一クラス五十人・五クラスありました。六年生の時は全校1、554人でした。翌年昭和三十四年度は、六クラスの学年もあり全校1、603人で最高記録です。どこの家族も七〜八人兄弟はザラでした。因みに、私は八人兄弟の四男です。

父母・兄弟・子・孫、四世代皆・王江小です。景気が回復し世の中が豊かになり、五年生の時、鼓笛隊結成や王江好美会(モダンバレエ)教室なども開設されました。細江町の市民会館で、学芸会や映画鑑賞した時を懐かしく思い出します。

王江小は心の故郷、家族の歴史です。校歌の一節にある「正しく・強く・優しい子」の精神は、自分や人に対しての心の支えとなって、今も卒業生皆の心に生きています。校舎や校名が無くなっても、王江小学校での六年間の思い出は七十五才になった今でも、私の心の支えとなっています。

有難う王江小学校！ 因みに、閉校時の卒業生は17、379人。在校生65名を加えると、17、444人が巣立ちました。



昭和33年 6年4組 校長先生の横が私(前列右から5番目)

王江小アルバム



明治 16年王子山校舎



明治 35年落成校舎



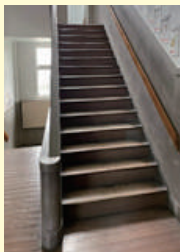
昭和 13.4.27 鉄筋コンクリート3階建現校舎落成



S28.10.15 創立 75周年旗行列



S33年学芸会(下関市民会館) アラジンと魔法のランプ



大理石の手すりと木の階段



アーチ形の天井廊下



閉校記念碑設置 (R4.3.5 除幕式)



R3.8.15 校舎屋上より閉校記念花火打ち上げ



R3.10.30 最後の運動会・応援合戦



R3.10.30 風船飛ばし